

うちどく 家読ブックリスト、気になる本はありましたか？



10月に発行した家読(うちどく)ブックリストのパンフレットですが、載っている本を読んでみた人はいますか？

どの本も読みごたえがありますから、気になる本があったらぜひ読んでみてください。学校図書館にない場合は、市立図書館で借られます。やまなみ号でもリクエストすればもってきてくれます。

『絵本』『文学』『科学』『生き方』『知ってほしいこと』からそれぞれ5冊と、名張りにゆかりのある作家の本を紹介しています。



家読ブックリストで紹介している

『モヤモヤそうだんクリニック』

(著：池谷裕二 絵：ヨシタケシンスケ)

発行：NHK出版

は、名張市立図書館の子どもの本貸出ランキング(2022/10/31～2023/1/31)で20位に入っています。



←QRコードで、インターネットでもブックリストが見られます。

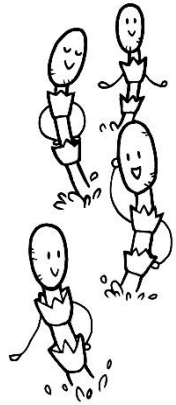
かえしわすれ、ありませんか？

☆名張市内小中学校の春休みは、本のかしだしがありません。

毎年年度末のとしよだよりでお知らせしていますが、学校図書館で借りている本は3月中にかならず返しましょう。長い間借りっぱなしの本はありませんか？特に6年生は卒業までに返すことをわすれないようにしましょう。かばんの中、教室、机の中、おうちの中、よく確認してください。もし、自分が本を借りているかどうか分からなかったら、学校図書館で聞いてみましょう。



今回のおしらせ
うちどくブックリスト
おすすめの本紹介



なばりしないしょうがっこう

ねん ど

名張市内小学校の2022年度おすすめ！

今年度も新しく入った本の中から、図書担当の先生方のおすすめ本を紹介いたします！

名張小学校

『よしよしおさん』

作：おおのたろう 発行：ポプラ社
次の展開が楽しみになり「早く！次！次！」となります。読んだ人はみんな「自分もよしよししたい！」よしよしされたら「何かできそう！」と感じると思います。

蔵持小学校

『トレモスのパン屋』

作：小倉 明 絵：石倉 欣二
発行：くもん出版
物語にすいこまれ、一気に読めます。読み終わった後には、大切なメッセージを受け取ることができます。

薦原小学校

『図書委員アイデアブック』

監修：吉岡裕子 村上恭子
発行：あかね書房
読書推進イベント等実際の写真があるので、委員会の児童と一緒に考えるのにとっても参考になります。

比奈知小学校

『わたしがかわる みらいもかわる SDGs はじめのいっぽ』

作：原 琴乃 絵：MAKOカスツオ
監修：山田 基晴 発行：汐文社
世界の現状や、私たちにもできる取り組みを、絵を見ながら分かりやすく学ぶことができる一冊です。

美旗小学校

『しっばいにかんぱい！』

作：宮川 ひろ 絵：小泉 るみ子
発行：童心社
子どもたちに「失敗をおそれずに色んなことにチャレンジしてほしい」という思いや失敗しても成長につながるということを感じてほしいです。

箕曲小学校

『へいわとせんそう』

文：たにかわ しゅんたろう
絵：Noritake 発行：ブロンズ新社
1年生から6年生の子どもたち全員が読める本で、平和についてじっくり考えることができます。

錦生赤目小学校

『おもち』

作：彦坂 有紀 もりと いすみ
発行：福音館書店
ページをめくるたび、少しずつ「おもち」がふくらみ焼けていきます。実際に見ている時と同じくらいドキドキ感が味わえます！

桔梗が丘小学校

『日本のことばずかん そら』

監修：神永 暁 発行：講談社
春夏秋冬という季節ごとに、天気や気象を表すことばがたくさんあることを知るよいきっかけになる本だと思います。

桔梗が丘南小学校

『あめふりうります』

作：平田 昌広
絵・原案：野村 たかあき 発行：講談社
「ことわざ」の学習につながるお話です。話の展開の面白さに気づいた子どもたちが読み聞かせを楽しみました。

桔梗が丘東小学校

『おいしい根っこ』

編著：中野 明正 発行：大月書店
ページが上下に分かれているし、かけ絵本。どんな植物か当てながら読めるので、読み聞かせでも楽しめる本になっています。

つつじが丘小学校

『きむらゆういちの手作りおもちゃ傑作集シリーズ(全3巻)』

著：きむらゆういち 発行：金の星社
2年生の「うごくおもちゃ作り」で、みんなに作ったものの説明をする子もいてとても良かったです。

すずらん台小学校

『ばあばにえがおをとどけてあげる』

文：J・リッ・アグエリス 絵：イザベル・フォア
訳：まつかわ まゆみ 発行：評論社
「よろこび」の意味をやさしく教えてくれるあたたかな物語です。そして「ただいだけていい」というメッセージも感じてほしいです。

梅が丘小学校

『おすしやさんにいらっしやい！生きものが食べものになるまで』

文：おかだ だいすけ 発行：岩崎書店
どの学年でも楽しんで読め、命をいただく大切さ、図鑑的な要素、すし職人の仕事、この一冊でたくさん学びがあります。

百合が丘小学校

『へいわとせんそう』

文：たにかわ しゅんたろう
絵：Noritake 発行：ブロンズ新社
文字数が少なく読みやすく、絵を見てへいわとせんそうについて、友だちの考えを聞くことができる良い絵本です。

先生のおすすめ本紹介は3回目ですが、初めて同じ本が紹介されました。「へいわとせんそう」はうちどくブックリストにも掲載しましたが、本当に今、読んでほしい本の1冊です。早く世界が平和になることを願うばかりです。